

[Project. 2 情報の共有、相互利用環境の構築]

I 温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

1 目的

京都議定書発効に伴い、市区町村は「地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、① 温室効果ガスの現状把握と将来推計、② 排出量削減対策、③ 削減目標の設定に取り組むことが求められている。本事業は、地域の温室効果ガス排出量の把握について、62市区町村共通の基準を策定しようとするものである。

2 事業内容

19年度は、18年度作成の特別区版温室効果ガス算定手法に、市の地域特性を取り入れ、市部への拡大版として作成する。

II 情報提供システムの構築

1 目的

みどり東京・温暖化防止プロジェクトの周知、地域への普及・啓発、情報交換・交流等の場とするため、ホームページを開設する。

2 ホームページの内容

- (1) みどり東京・温暖化防止プロジェクトのPR
- (2) 特別区長会共同宣言、報告書
- (3) 講演会内容などの情報提供
- (4) 各自治体の温暖化・みどり関係のイベントや事業一覧情報
- (5) その他

※19年度は順次掲載していく。